

“神戸運輸監理部・同志社大学プロジェクト”

「観光政策の最前線～みなと神戸訪日外客数アッププロジェクト～」

企画課 中井 瞳

神戸運輸監理部「観光最前線！」コラムをご覧の皆さま、こんにちは！企画課 中井です。

今日は、ちょっとマジメに。同志社の大学生と実施しているプロジェクトのお話。

神戸運輸監理部では、今年4月より、観光政策を担う人材を育成する全国初の試み「観光政策の最前線～みなと神戸訪日外客数アッププロジェクト～」を京都の同志社大学と連携し、実施しています。毎週火曜日、塚本課長と一緒に懐かしい同志社までお邪魔しています。(中井は、10年間同志社ガールです(^^)♪)

(プロジェクトの詳細は、神戸運輸監理部HP→「観光最前線！」→「観光人材育成」<http://www.tb.mlit.go.jp/kobe/kankoujinzaikusei.html> をご覧下さい。)



積極性と行動力は誰にも負けない元気な15人の学生が、どうすれば“みなと神戸を外国人で賑わせることが出来るか”、外国人満足度NO.1の京都に学ぶ学生だからこそ出来る提案をしようと、切磋琢磨しています。

学生は、授業以外の時間にも、各班(3班×5人)でミーティングをし、アポを取りヒアリングにも行きます。時には、自らの案に厳しい現実を突きつけられてションボリし、「でもリベンジするねん！」と学生。ますますミーティングにも力が入ります。「よく考えてるね！こうしたら、もっとイイよ！」と誉められてイイアドバイスをもらえたら、テンションはMAX！！「社会勉強になるわ～」と積極的におしまくる、学部も学年もバラバラな彼ら。関係者に話を聞こうと何度も神戸に足を運び、遅くまでミーティングを重ねる一所懸命なその姿に、私ももっともっと頑張らなくては！！という気持ちになります。

“我が国の経済社会発展に不可欠な重要課題”と位置づけられている「観光立国実現」には、将来の観光産業を担う人材の育成が不可欠と考えられています。

神戸運輸監理部では、全国に先駆けて観光人材育成に力を入れて取り組んできました。今回は、観光を政策面で担える人材を育成しようと、同志社大学さんと連携させて頂いています。学生が少しでも「観光」に興味を持ち、そして「政策的に」物事を考えることを、行政という現場を通して学んで頂けたらと思っています。(私自身も勉強の連続です！！)

来たる6月2日(火)の授業は、神戸フィールドワークを実施します。当日は、どんな収穫があるでしょうか???今から、わくわく&バタバタ中井です。また、報告させていただきます！

